



食事も自分たちで調理。食材をていねいに切る子どもたち

野外活動の楽しさを体験

子どもたちに野外活動を体験してもらおうと、8月23・24日（1泊2日）、ボランティアキャンプが、滝山公園（中菅）で開かれました。

子どもから大人まで40人が参加し、公園内の清掃・自炊・川遊び・キャンプファイヤー・天体観察・花火大会などさまざまな野外活動を体験しました。

参加者は、活動を通してお互いの交流を深め、奉仕活動の大切さなどを実感しました。

自然体験の中で

多くのことを学ぶ

8月23・24日、1泊2日のスケジュールでボランティアキャンプ（略ボラキャンプ）が滝山公園内で開かれました。

ボラキャンプは、子どもたちや保護者、青年団員などがいっしょになって野外でキャンプ生活や公園内の清掃活動を行い、お互いの交流や野外活動の中から何かを学んでもらおうと、昨年から町青年団が企画。今年は、完全学校週

5日制導入にともない立ち上げられた「町子ども週末活動支援ボランティアセンター」などと協力して開きました。
清掃活動・川遊び
自炊に花火大会など

今年も、園児から保護者、町青年団、関係者ら40人が参加。公園内の清掃活動・自炊・川遊び・キャンプファイヤー・天体観察・花火大会など楽しい野外活動を体験しました。
きれいな公園は
とても気持ちがいい

始めに各班に分かれて公園内の清掃活動をしました。

滝山公園は、春のツツジ、夏の涼、秋の紅葉と多くの観光客が訪れる場所とあって、多くのゴミがあると思われるのですが、約1時間かけて回収したのは少量のゴミだけ。子どもたちは、「どうしてかなくもっとあると思ったのに。でもきれいな公園は気持ちがいい」と話していました。

理由は、翌日分かりました。地元の方々が、定期的に清掃しているということでした。子どもたちは、偶然に出会った地元の人たちの清掃活動に感心していました。

ボラキャンプ